

東海防衛だより

2018年夏号



東海防衛支局の取組等

- ◆ 被災したF-2の修復が全て完了
- ◆ 平成29年度東海防衛セミナー第2回を開催
 - ◆ 笑顔が集まる「まちのえんがわ」（防衛施設周辺対策事業の紹介）
 - ◆ 東海防衛支局で職員を採用

東海3県の自衛隊の動き

- ◆ 福井県豪雪災害に守山と春日井から部隊が出動

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ 天を舞う龍の如く、世界へ羽ばたく企業を目指す
(天龍エアロコンポーネント株式会社)

* 地本だより、採用情報、着任者の紹介 *

F-2B戦闘機

被災したF-2の修復が全て完了

平成30年2月28日、三菱重工業（株）名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場において、「F-2B損傷航空機の修復」契約の最終号機が航空自衛隊へ引き渡されました。

「F-2B損傷航空機の修復」契約は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、航空自衛隊松島基地のF-2B戦闘機が被害を受け、修復可能な13機について、三菱重工業（株）と締結（平成24年1月に6機、平成26年3月に7機）されました。

平成27年4月から修復した機体の引き渡しが始まり、平成30年2月28日、東海防衛支局による13機目の最終号機の監督検査が終わり、全て航空自衛隊松島基地へ帰還しました。

～名古屋から松島へ～



離陸に向かう修復最終号機（三菱重工業（株）小牧南工場）

【F-2戦闘機とは】

F-2戦闘機は、米国のF-16戦闘機をもとに、わが国の運用構想、地理的特性に適合するように、日米の優れた技術を結集し、日米共同で開発された戦闘機です。平成12年度から量産機の取得がはじまり、平成23年9月までにA型（単座機）及びB型（複座機）計94機が航空自衛隊へ納入されています。

得られた技術は、民間へ転用され活躍しています。

（スピノフからの事例）

- 一体成型複合材技術 → 民間航空機・宇宙部門
- アクティブ・フェイズド・アレイ・レーダー技術 → 高速道路のETC等
- チタンボルト技術 → 医療用骨折時補強ボルト

F-2（A/B）戦闘機 主要諸元		
主要スペック	乗員	1/2（教育訓練用）人
	全幅	11.1m
	全長	15.5m
	全高	5.0m
性能	最大速度	マッハ約2.0
	武装	20mm機関砲 空対空レーダーミサイル 空対空赤外線ミサイル 空対艦ミサイル



東海防衛支局監督官による監督検査

平成29年度東海防衛セミナー第2回を開催

平成30年3月12日、東海防衛支局は、名古屋商工会議所との共催で同商工会議所大ホール（名古屋市）において、「日本の安全・安心を考える～我が国の防衛生産・技術基盤～」を主題に平成29年度の第2回となる東海防衛セミナーを開催しました。昨年11月に開催した第1回のセミナーでは、弾道ミサイルへの対応を主題に、北朝鮮情勢やJアラートによる情報伝達を取り上げたところです。

セミナーは、東海防衛支局の倉内支局長と名古屋商工会議所の内川常務理事・事務局長の挨拶にはじまり、第1部では、防衛装備庁装備政策部の森装備政策課長が「防衛生産・技術基盤の維持・強化について」をテーマに、防衛装備品の高性能化に伴う調達単価等の増加や輸入品の割合の増加などの状況下、我が国の防衛産業の厳しい現状や防衛生産・技術基盤の維持・強化のための施策などについて講演を行いました。第2部では、AMシステムズ

（株）代表取締役社長、南信州・飯田産業センター専務理事、多摩川精機（株）前代表取締役社長・副会長である萩本範文氏が「防衛産業とモノづくり～その歴史と未来～」をテーマに、ご自身の防衛産業における経験を踏まえ、防衛とも繋がり深い航空機産業の振興による中部地域の活性化や日本の再生などについて講演を行いました。

参加者からは、「我が国の防衛と産業について考える良い機会になった」、「国と民間の現状を聞いて大変参考になった」などのお声をいただきました。



東海防衛ミニセミナーを岐阜基地で開催

平成30年2月22日、東海防衛支局は、航空自衛隊岐阜基地（各務原市）において、名古屋商工会議所の会員等を迎えてミニセミナーを開催しました。ミニセミナーは、商工会や青年会議所などの地域のオピニオンリーダーを対象とした少人数規模のセミナーであり、東海防衛支局でははじめて開催したものです。

ミニセミナーでは、倉内支局長の挨拶・業務紹介の後、平元岐阜基地司令（兼）第2補給処長により、岐阜基地の概要、我が国周辺の軍事情勢や航空自衛隊の態勢などについて講話が行われました。続いて、参加者は、広報館で様々な展示品を見学した後、飛行開発実験団や防衛装備庁岐阜試験場で装備品を見学しました。

参加者からは、「講話を聞いて軍事情勢の厳しさや防衛の必要性を強く感じた」、「基地の役割がよく分かった」、「機会があれば、また参加したい」などのお声をいただきました。

東海防衛ミニセミナーを行った岐阜基地の概要

(歴史)

岐阜基地は、岐阜県南部（各務原市）に位置し、1876年（明治9年）に旧陸軍の砲兵演習場として開設されました。1917年（大正6年）には、旧陸軍の各務原飛行場として使用開始され、現存する飛行場としては、日本で最も長い歴史があります。2017年（平成29年）には、飛行場開設100周年を迎えました。

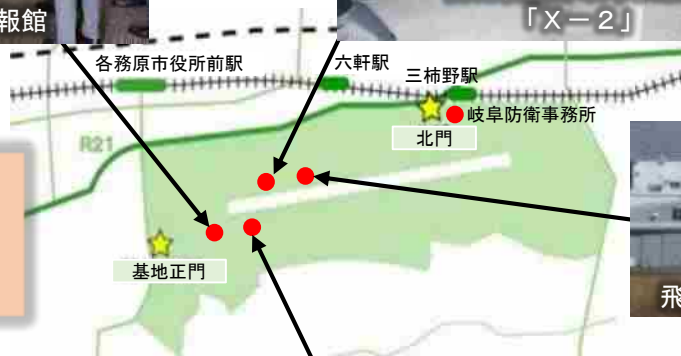
(所属部隊等)

岐阜基地には、今回のミニセミナーで訪問した「第2補給処」、「飛行開発実験団」、「防衛装備庁岐阜試験場」のほか、「第4高射群」、「自衛隊岐阜病院」などが所在しており、東海防衛支局管内で最大規模の防衛施設です。

各部隊等の任務は以下のとおりです。

- ・第2補給処：航空機部品の調達・補給や基地業務（給食、消防、厚生等）など
- ・飛行開発実験団：航空機・ミサイルなどの試験やテストパイロットの養成など
- ・防衛装備庁岐阜試験場：航空機等の性能に関する試験など
- ・第4高射群：地对空ミサイル（パトリオット）の運用
- ・自衛隊岐阜病院：隊員の診療や看護師・救命救急士の養成など

岐阜基地には、東海防衛支局の岐阜防衛事務所も所在しており、岐阜県内の防衛産業を対象に監督や検査などを行っています。



(規模)

- ▷面積：約400万㎡
- ▷滑走路：2,700m
- ▷総人数：約2,400名



笑顔が集まる「まちのえんがわ」

那加東新地区学習等供用施設

東海防衛支局は、平成29年度に航空自衛隊岐阜基地に関連する防音助成事業として、各務原市が実施する那加東新地区学習等供用施設の新設工事に約2千5百万円の補助を行いました。

本施設は、近隣住民の皆様方からのご要望を受け新設されたものであり、「まちのえんがわ」をコンセプトに開放感溢れる構造となっており、また、全面バリアフリーとして、快適に利用できる設計になっています。完成後は、自治会活動などの集会活動が活発に行われています。



施設外観



施設内観



トイレ



華道サークル



自治会活動



利用者の声

室内外にえんがわがあるのが特徴的で魅力があります。特に、外のえんがわは散歩中座って休憩したり、お喋りをしたりするのに、大変ありがたいです。



施設全体がバリアフリーで、子どもや高齢者にとってもやさしく利用しやすいです。



市担当者の声



この施設の特徴は、全面的に大きな窓を設け、大変明るく開放感たっぷりなところ です。

また、「まちのえんがわ」を設け、施設の中だけでなく外を行き交う人たちが気軽に交流できる場所として整備しました。

地域の方々の交流や活動の拠点として、快適に利用していただける施設となりました。

東海防衛支局で職員を採用

採用希望者のための業務説明会を開催予定

東海防衛支局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の合格者から職員を採用しています。国家公務員を希望する者のために、人事院中部事務局主催の「官庁合同業務説明会」、省主催の「業務セミナー」及び「現場見学会」が開かれており、直接職員に、具体的な業務内容などの質問や、実際の職場の雰囲気を経験できる機会となっております。

本年は7月頃の開催を予定しています。細部日程等については、東海防衛支局ホームページ「採用情報」をご覧ください。



業務セミナーの様子
(東海防衛支局)



現場見学会の様子
(陸上自衛隊守山駐屯地)

採用されて1年経った職員の感想



所属：総務課
氏名：永田 美華穂
(一般職(大卒)行政採用)

私は昨年4月に採用され、現在総務課人事係に所属しています。事務官として国を守るという大きな仕事に携わることができる点に魅力を感じ、地方防衛局を志望しました。現在は主に諸手当の認定作業を行っており、入省前は組織の一員としてうまくやっていたか不安でしたが、周りの方々に助けられながら少しずつ日々の業務に取り組んでいます。人事係として様々な方と関わりながら、2年目を以降も勉強を続けて幅広い知識を身につけていきたいです。



所属：建築課
氏名：芹澤 祐介
(一般職(高卒)
電気・情報採用)

私が勤務しているのは建築課電気設備係です。電気設備係では、自衛隊基地にある庁舎や宿舍、格納庫や飛行場などの現場で行われる、コンセントや照明器具、分電盤などの電気設備工事に関わる事務を行っています。電気についてはまだまだ勉強中の身であり、1年経った今でもわからないことが多くあります。2年目は、1年目の経験を踏まえ、どのように仕事を進めれば正確に、効率よくできるかを考えながら行動したいと思います。



所属：建設計画官付
氏名：濱村 佳奈
(一般職(高卒)土木採用)

昨年の4月に入省し、あっという間に時間が過ぎ、1年が経ちました。私が所属する建設計画官では、主に建築課や土木課からの質疑や意見を取りまとめ、関係部隊と調整を行っています。1年目は業務の流れが分からず、ミスが多く、まわりに迷惑ばかりかけていましたが、上司や先輩方から優しくも厳しい指導をしていただき、日々少しずつ学んでいます。2年目となる今年度は、1年目の経験を糧に、日々勉強し、励んでいきたいと思っています。

福井県豪雪災害に守山と春日井から部隊が出動

平成30年2月6日、北陸地方をおそった大寒波による豪雪のため、福井県あわら市から坂井市間の国道8号線で多数の車が立ち往生となり、福井県知事から、陸上自衛隊第10師団の第14普通科連隊長（金沢駐屯地）に対し、人命救助等に係る災害派遣の要請がありました。

金沢駐屯地と鯖江駐屯地から部隊が直ちに現地に赴くとともに、第10師団司令部（守山駐屯地）が福井県庁に指揮所を開設、隷下部隊が順次増援されました。

増援部隊として、今津駐屯地や富山駐屯地のほか、東海地方からも、守山駐屯地と春日井駐屯地の部隊が出動しました。

派遣部隊は、国土交通省、福井県警、消防、民間ドライバーなどと共同して24時間態勢で除雪作業、飲料水や食糧の配布を行い、2月9日午前0時40分頃、無事立ち往生していた車両の救出を完了しました。救出した車両台数は約1,190両、除雪距離は約30キロメートルにもなりました。



福井県知事と第10師団長



道路の除雪作業



食料の運搬

派遣された部隊配置図



第10師団は、愛知県名古屋市に司令部を置き、東海北陸6県（富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重）の防衛警備に任じ、災害派遣、民生協力及び国際平和維持活動などにあたっています。

守山駐屯地、春日井駐屯地の部隊からのコメント

第35普通科連隊（守山駐屯地）



重機が進入困難な道路での除雪作業

第35普通科連隊は、主に近接戦闘により任務を遂行し、愛知県尾張地区及び岐阜県全域の防衛警備、災害派遣を担当します。

福井県大雪に係る災害派遣においては、連隊長以下約360名をもって、約2日半にわたり除雪作業を行い、滞留車両約850両の救助等により、その解消に貢献できました。

引き続き、地域の皆様に信頼される連隊として日々練武に励んでまいります。



戦闘訓練

第10通信大隊（守山駐屯地）



現地での通信組織の構成作業

第10通信大隊は、音声・データ通信を提供する師団の唯一のシステム通信専門部隊であり、師団通信組織を構成・維持・運営すると共に、地上写真業務を行っています。

福井県大雪に係る災害派遣においては、部隊間の通信組織を構成しました。

師団の任務達成の為に、戦況推移の結節に即応した指揮・統制、情報収集及び連絡を容易にするため、常に向上心をもって任務達成に励んでおります。



システム通信訓練

第10後方支援連隊（春日井駐屯地）



レッカーによる災害車両の救出作業

第10後方支援連隊は、師団の後方地域等に兵站・衛生施設を開設し、各部隊に対し支援を行っております。

福井県大雪に係る災害派遣においては、整備・補給・衛生支援を実施しました。

我々は、いついかなる任務も即応し完遂できるよう、即応態勢の維持に万全を期しております。



野外入浴所開設訓練

第10施設大隊（春日井駐屯地）



重機による除雪作業

第10施設大隊は、師団唯一の施設科部隊であり、築城、障害の処理、渡河、交通等の施設作業を実施し、各部隊を支援しております。

福井県大雪に係る災害派遣においては、重機による除雪作業等、高い施設力を駆使し任務の完遂に努めました。

引き続き、地域の皆様に信頼される部隊として日々練武に励んでまいります。



陣地構築訓練

天を舞う龍の如く、世界へ羽ばたく企業を目指す

天龍エアロコンポーネント株式会社

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品の調達にあたり、製造工程での審査や、最終的な完成検査を行っています。そこで、このコーナーでは我が国の防衛力の基盤となる製造会社の技術力を紹介します。

1 今日までの道程

天龍エアロコンポーネント株式会社は、航空機の軽合金・複合材部品加工、機体組立、座席製造により今日に至っています。

その前身は、終戦後に川崎航空機（現川崎重工業）が興した川崎板金を経て独立した鏡島工業で、川崎航空機が乗合バスの生産を開始したことから、昭和24年、社名を天龍工業とし、各務原市に工場を移して、バス用の座席の一貫生産を開始しました。

その後、船舶用や鉄道車両用の座席についても生産を開始し、昭和36年、大型ヘリコプター用座席の生産を皮切りに、航空機用座席の生産を始めました。その後も、航空機用部品の製作や機体用のパネル組立作業等の事業を拡大しながら航空機事業に関わってきました。

平成21年、天龍工業（株）の航空機事業部門が分社化され、現在の天龍エアロコンポーネント（株）となりました。

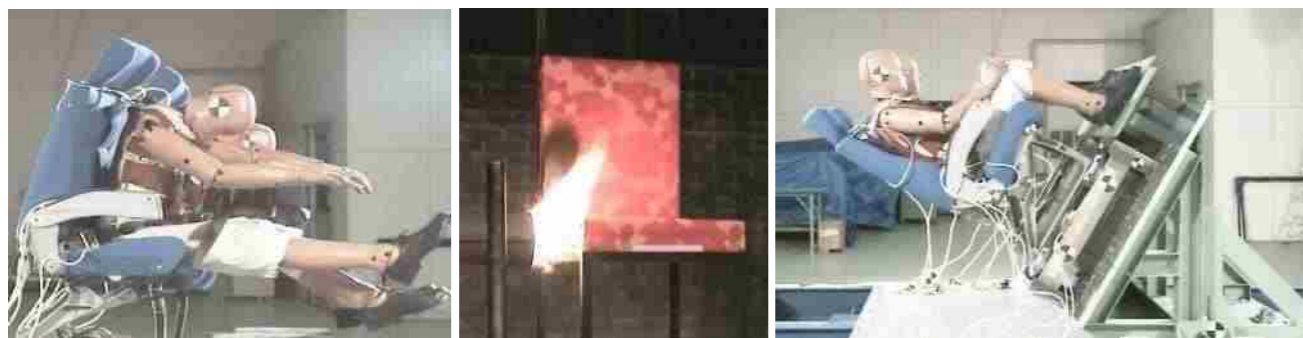


天龍エアロコンポーネント（株）

2 航空機用座席に求められる安全性

乗物用の座席には乗員の安全性を確保するために衝撃試験等が行われています。航空機用座席については、他の乗物用座席に比べて厳しい試験条件が求められており、その一例として、航空機用座席はバス用座席の約2倍の16Gという衝撃での試験が行われるほか、バス用座席には求められていない条件での試験も行われています。

天龍エアロコンポーネント（株）では各種試験装置を活用することで、これらの試験条件を満たす製品を生産しています。



衝撃試験（前方向）

燃焼性試験

衝撃試験（下方向（落下））

3 自衛隊で使用している航空機用座席

自衛隊で使用している航空機用の座席で最新のものとしては、哨戒機P-1及び輸送機C-2のオペレータ用座席や人員輸送時（C-2）に使用する折り畳み式座席があります。



(1) オペレータ用座席

オペレータは旅客機の乗客とは異なり、各自任務を有しているため、座席は前後左右上下への動きに加え、回転することも求められています。このように可動部分が多くなることは強度的には不利な条件となりますが、衝撃等の負荷に対する性能については妥協が許されないため、構造材料の一部に異なる材質を用いることで強度を確保したり、軽量化を実現するため、部品製作に精密加工機械を用いることでグラム単位での軽量化を実現しています。また、可動部が多く構造が複雑なことから、衝撃発生時のダメージ軽減が困難となりますが、フレーム構造の一部を意図的に変形させることで人体への影響を少なくするような工夫がなされています。



オペレータ用座席（上）と
座席調整用のレバー類（下）

(2) 人員輸送用折り畳み式座席

人員輸送時の折り畳み式座席も一見するとレジャー用の椅子のように見えますが、非常着陸時の乗員保護性能や、軽量化を実現するためにフレーム部分の材料の厚みについては限界まで薄くしつつ、負荷のかかる部分は必要に応じて厚さを変更しています。また、多くの装備品を身につけた隊員が安全かつ快適に座れるように、背もたれの部分を二重構造にするなどの工夫がなされています。



人員輸送用折り畳み式座席

4 天龍エアロコンポーネント（株）のものづくりへの取組

このように自衛隊で使用する航空機用の座席の設計製造に関しては、その外観からは想像できないような部分で高度な技術力が必要とされています。

天龍エアロコンポーネント（株）は、これまで永年に亘り培った技術力や時代の先を見つめて研究開発を進めることで厳しい条件を満足させる製品づくりを続けています。

地本だより

自衛隊地方協力本部（地本）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

愛知地方協力本部

（電話）052-331-6266

<http://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



●「自衛隊広報ルームへ、ご招待♪」



自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。
他にも制服を試着して記念撮影するコーナーなど盛りだくさん！自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来て下さい！

岐阜地方協力本部

（電話）058-232-3127

<http://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



●平成30年度 ぎふ自衛隊音楽まつり

開催日：平成30年6月17日（日）

場 所：長良川国際会議場

出 演：陸上自衛隊 第10音楽隊 他

三重地方協力本部

（電話）059-225-0531

<http://www.mod.go.jp/pco/mie/>



●陸海空自衛隊まるごと体験&ふれあいコンサート

開催日：平成30年6月30日（土）

場 所：三重県立総合文化センター大ホール

内 容：陸海空自衛隊の各種装備展示や体験型イベント等

※詳しい情報は、各自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。

平成30年度防衛省職員採用試験の御案内

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験、社会人試験）

【申込受付期間】（申込みは、インターネットにより行ってください。）

平成30年6月18日（月）9：00～6月27日（水）[受信有効]

【試験の日程】

第1次試験日 平成30年 9月 2日（日）

第1次試験合格者発表日 平成30年 10月 4日（木） 9：00

第2次試験日 平成30年 10月10日（水）～10月19日（金）

最終合格者発表日 平成30年 11月13日（火） 9：00

※詳しい情報は、防衛省、人事院のホームページを御覧下さい。

防衛省ホームページ
「採用情報」

<http://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>



人事院ホームページ

「国家公務員試験採用情報NAVI」

<http://www.jinji.go.jp/saiyo.htm>



新次長・課長等着任（4月1日異動）

	略 歴 南関東防衛局 管理部次長 東北防衛局 会計課長				
次 長 関 場 一 幸		首席検査官 嶋 野 元	施設企画課長 松 岡 則 之	周辺環境整備課長 針 貝 雅 喜	岐阜事務所次長 塩 田 和 久

東海防衛支局

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館

東海防衛だより2018年夏号（通巻第35号）平成30年5月31日発行

電話 052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

